

欧米競争政策の動向のポイント

2024年2月5日 No.44

金子 晃 監修

内 容

I 米国競争法(政策)

1 共謀事件

- (1) 司法省、トラック業者ら幹部達が米国森林局を騙し取って、入札談合等に関与したとして、大陪審起訴を受けた旨発表(2023年12月15日)

2 企業結合事件

- (1)(A) 連邦取引委員会、サノフィによるメイズのポンペ病治療薬候補の独占的なライセンス獲得の阻止を求め、審判開始を決定(2023年12月11日)
- (1)(B) 連邦取引委員会、メイズのポンペ病治療薬候補に対するサノフィのライセンス獲得の計画が取り下げられたことに関し、声明を発表(2023年12月13日)

II 欧州競争法(政策)

1 共謀事件

- (1) 欧州委員会、和解手続により製薬会社に1340万ユーロの制裁金を賦課(2023年10月19日)

2 買収事件

- (1) 欧州委員会、日立レールによるThalesの地上運送事業の買収を条件付承認(2023年10月30日)

公益財団法人 公正取引協会

〒107-0052 東京都港区赤坂1-4-1

赤坂KSビル2F

電話 03-3585-1241 FAX 03-3585-1265

<https://www.koutori-kyokai.or.jp>

I 米国競争法(政策)

本号では、共謀事件1件と企業結合事件1件を取り上げる。

共謀事件は、米国森林局が発注する燃料トラック利用契約案件のそれぞれで入札談合を繰り返していたとして、競合する業者同士の重役ら、計2名が起訴されたという事件である。本件でアイダホ州地区連邦地裁での大陪審が起訴状案を検索官に返して、当該容疑者らの正式起訴を認めた。

企業結合事案は、メイズ社が進めているポンペ病治療薬開発プログラムに対するサノフィ社の排他的ライセンスの取得に基づく利用計画について、連邦取引委員会がその実行阻止を求めていた事案である。連邦取引委員会は具体的には、審判開始を決定したと共に、本件ライセンス取得計画の実行の予備的差止めを求めて訴えを起こした。提訴直後にサノフィ社がこの計画を中止したのを受け、連邦取引委員会は法執行手続の継続を中止した。本件では、(A)法執行手続、及び(B)本件計画の中止に関するプレスリリース原稿のそれぞれ、合計2枚が取り上げられている。

1 共謀事件

(1) 司法省、トラック業者ら幹部達が米国森林局を騙し取って、入札談合等に関与したとして、大陪審起訴を受けた旨発表(2023年12月15日)¹

裁判所が認めた盗聴捜査が行われた後、アイダホ州ボイジ地区での連邦大陪審は今週(12月11日から12月15日)、シャーマン法に違反する入札談合と市場分割の共謀、通信詐欺の共謀、及び通信詐欺の罪に関与したとして、競合する企業同士の幹部1名ずつ、合計2名を告発する起訴状案を回付し、正式な起訴状としてそれを承認した。

罪状全7件が記載されている本件起訴状によると、アイク・トムリンソンとクリス・バードの共謀は、森林消防サービスの提供に関する契約に影響を与えた。起訴状の中で主張されているように、米国森林局は納税者が収めた税金が効率的に使われるようにするため、これらの契約の付与に当たって競争入札を実施している。起訴状によると、遅くとも2014年2月頃から2023年3月頃に至るまで、被告らは、競合他社を「締め出し」(“squeeze”)また「沈める」(“drown”)のために、各地それぞれの入札で発注者らに提示される価格を調整したり、共謀による非競争的な日割り料金で燃料トラックの使用代金を受け取ったり、また自分達の行動を隠蔽しようとしていた。

この捜査はFBI(連邦捜査局)捜査官らも含む、司法省のPublic Procurement Strike Force(共謀調達対策チーム;以下「PCSF」という。)によって行われ、同捜査官らは裁判所の許可を得て、被告ら

¹ Press Release, Department of Justice, Executive Charges with Bid Rigging, Territorial Allocation and Defrauding the U.S. Forest Service After a Wiretap Investigation, December 15, 2023.

間の電話の通話を盗聴していた。起訴状の中で主張されているように、トムリンソン氏とバード氏は、燃料トラックの使用契約に係るそれぞれの入札で札の提出期限の直前に、二人で話し合ったりしていた。起訴状の中で引用されている幾つかの通話で、彼らは入札談合を行い、地域市場を割り当て、また競合他社を排除のターゲットにすることに合意した。

シャーマン法に違反した場合、個人には最高10年の禁固と100万ドル(約1億4500万円、1ドル=145円)の罰金、法人には最高1億ドル(約145億円)の罰金が科せられる。罰金の上限は、犯罪による利得の2倍の金額、又は犯罪によって被害者が被った損失の2倍の金額の何れかが法定上限額を上回る場合、その何れかの金額まで引き上げることができる。電信詐欺に関する法律に違反した場合、最高で禁固20年の刑が科せられる。連邦地方裁判所の裁判官は、米国の量刑ガイドラインその他の法定要因を考慮した上でどんな量刑を下すのかを決定するようになっている。

反トラスト局サンフランシスコ事務所、アイダホ州地区の連邦検事局、及びFBIソルトレークシティ地方支部またボイシ駐在事務所がこの事件を捜査している。

反トラスト局サンフランシスコ事務所のマシュー・チョウ公判検事とクリストファー・J・カールバーグ副主任、及びアイダホ州地区のショーン・M・マゾロール連邦検事補がこの事件を訴追している。

2019年11月に司法省は共同法執行の取組であるPCSFを発足した。PCSFは反トラスト法違反また関連する詐欺的スキームの取り締まりを目的としており、取り締まり対象には、連邦政府、州政府と地方政府レベルでの政府調達、助成金付与、また公的なプログラムへの資金援助に関わる不正行為がある。PCSFについて詳しく知りたい場合、または政府支出に関連する入札談合や価格カルテル、市場分割、その他の反競争的行為に関する情報を報告したい場合、<https://www.justice.gov/procurement-collusion-strike-force> にアクセスして下さい。

2 企業結合事件

(1)(A) 連邦取引委員会、サノフィによるメイズのポンペ病治療薬候補の独占的なライセンス獲得の阻止を求め、審判開始を決定(2023年12月11日)²

連邦取引委員会(以下「FTC」という。)は、Maze Therapeutics Inc.(以下「メイズ社」という。)が進めているポンペ病治療薬候補に対するSanofi(以下「サノフィ社」という。)の排他的ライセンスの取得を阻止しようとしている。

FTCは本日(2023年12月11日)、本件で審判開始決定書を送付し、また連邦裁判所への訴えの提起を承認した。当該法執行活動で、FTCは、最大7億5500万ドル(約1094億7500万円)相

² Press Release, Federal Trade Commission, FTC Seeks to Block Sanofi's Acquisition of Rare Disease Drug that threatens Sanofi's Monopoly, December 11, 2023.

当のこの取引案が実施されれば、ポンペ病治療市場におけるサノフィ社の独占力に対抗する態勢にある新興の競合相手が排除されるようになるとの主張を展開している。

ポンペ病は身体を衰弱化させ、また死をもたらす可能性のある遺伝性疾患である。サノフィ社は、食品医薬品局が承認した当該疾患向け治療薬の独占的供給者である。メイズ社は本件新薬(MZE001 と呼ばれるグリコーゲン合成酵素 1 阻害剤)の開発を進めており、開発プログラムでは臨床試験の二番目の開発段階に入るための準備が整っている。FTC の審判開始決定書によると、本件新薬の開発により、ポンペ病患者が利用できる最初の経口薬が登場するようになり、サノフィ社が有する独占力が崩れていくようになるであろう。

この審判開始決定書には、メイズ社から本件新薬開発プログラムをライセンス契約に基づいて利用しようとしているサノフィ社の子会社たるジェンザイム社の社名も綴られている。審判開始決定書の中で FTC は、このライセンス獲得により、サノフィ社の独占が保護されるようになり、またポンペ病治療薬の開発をめぐるサノフィ社とメイズ社間の競争が消滅してしまい、結果として、患者と医師が価格の引き下げや技術革新の進展等、競争による恩恵を享受できなくなるであろうとの主張を展開している。

FTC 競争局のネイト・ソダーストロム次長代理は、以下のように述べた。

「メイズ社が進めているポンペ病治療薬の開発をサノフィ社が買収することで、患者らは新しい革新的な治療法を選べなくなり、またサノフィ社が救命のための当該必須医薬品を法外な価格で販売し続けられるようになるだろう。FTC は、患者と医師が革新的で手頃な値段の治療法を選べるのが重要であると考え、そのため、サノフィ社とメイズ社との取引案に対し法執行手続を進めている。」

サノフィ社は独占者として、ポンペ病への治療法の実施に年間数十万ドルも請求している。サノフィ社の既存薬が隔週で長期間の静脈内注入によって投与されるのに対して、メイズ社が開発している新薬は 1 日 2 回服用する経口錠剤である。このため、患者はこの新薬の利用により治療負担を大幅に軽減できるようになる。

FTC の審判開始決定書によると、サノフィ社は、メイズ社が本件新薬(MZE001)の開発計画を 2021 年に公に発表した直後に、収益性の高い同社のポンペ病対応薬が持つ独占に対して本件新薬候補のみが力強く挑戦してくるであろうとの分析を示した。MZE001 は、サノフィ社から大きな市場シェアを奪う可能性を秘めているだけでなく、ポンペ病の標準治療薬として、サノフィ社の既存薬に取って代わる薬となる可能性も有している。審判開始決定書で、FTC は今回の買収案の実施により、ポンペ病治療薬を巡るサノフィ社の独占力が維持されると同時に、ポンペ病治療薬の開発を巡るイノベーション競争も低迷するようになるであろうと主張している。

審判開始決定書の送付に加えて、FTC は FTC 職員に対し、FTC の行政手続が完了するまで、サノフィ社による新薬 MZE001 の開発プログラムの買収を阻止するため、連邦地方裁判所に暫定的禁止命令と仮差止命令を求めることを承認した。FTC の連邦裁判所への訴状は、マサ

チューセッツ州地方裁判所に提出される予定である。訴状の公開版は後日公開される予定である。

審判開始決定書を送付し、また暫定的禁止命令と予備的差止命令を求める権限を FTC の職員に与えるかどうかについては、FTC の採決の結果、賛成 3 票、反対 0 票で議決された。

FTC 競争局の合併第一課がこの事件を担当した。

(1)(B) 連邦取引委員会、メイズのポンペ病治療薬候補に対するサノフィのライセンス獲得の計画が取り下げられたことに関し、声明を発表(2023 年 12 月 13 日)³

Maze Therapeutics Inc.(以下「メイズ社」という。)のポンペ病治療薬の開発プログラムに対する Sanofi(以下「サノフィ社」という。)の排他的ライセンスに基づく利用計画が中止になったのを受け、連邦取引委員会(以下「FTC」という。)はこの取引案に対する法執行手続の継続を中止した。FTC 競争局次長代理のネイト・ソーダーストロム氏は次の声明を発表した。

「サノフィ社がこの反競争的な買収計画を進めないと決定したことは、患者にとって大きな勝利、また FTC にとっても重要な勝利である。提案されていた取引により、サノフィ社は潜在競争を排除して独占力を維持し続けられ、次に、救命に繋がる必須のケアを巡るイノベーションを減退させられたに違いない。また、当該取引により、サノフィ社はポンペ療法の治療費として年間 75 万ドル(約 1 億 875 万円)を超える独占価格を請求し続けられたはずである。

今回の取引案が交渉の対象から外れたことで、サノフィ社とメイズ社は今後も能率競争に励み続けることができ、両社はこの衰弱性疾患に苦しむ患者に対し、より良い治療薬を手頃な価格で提供することに取り組めるようになる。技術革新を続けていくインセンティブが残るので、患者と医師はより良い選択肢から治療薬を選ぶことができ、最終的には患者の治療負担が軽減されるようになるだろう。

FTC は患者を保護するために反トラスト法の執行には躊躇しない。この事件に取り組んで頂いた才能のある素晴らしい職員全員にお祝いを申し上げ、また感謝を申し上げたい。FTC の職員が卓越したスキルを持ち、勤勉であり、また FTC の使命に対して献身的であったからこそ、この結果は可能であった。」

FTC は 2023 年 12 月 11 日、メイズ社の新薬(MZE001 と呼ばれるグリコーゲン合成酵素 1 阻害剤)開発プログラムに対するサノフィ社の排他的ライセンスに基づく利用計画について、その実行の阻止を求めて審判開始を決定した。本件新薬開発プログラムでは、臨床試験の 2 番目の開発段階に入るための準備が整っている。FTC の審判開始決定書で主張されているように、本件

³ Federal Trade Commission, Press Release, Statement Regarding the Termination of Sanofi's Proposed Acquisition of Maze Therapeutics' Pompe Disease Drug, December 13, 2023.

取引案が実行されれば、ポンペ病治療薬市場でのサノフィ社の独占を崩しうる潜在的競争単位が消滅してしまうようになる。

FTC が審判開始を決定し、連邦裁判所への訴え提起を許可した後、サノフィ社はメイズ社との契約を破棄すると発表した。そして、FTC は 2023 年 12 月 13 日、連邦裁判所での提訴及び行政審判を取り下げるための手続を取った。

(お問い合わせは、佐藤 潤・慶應義塾大学産業研究所共同研究員 jun_sato02@yahoo.co.jp までお願いします。)

II 欧州競争法(政策)

本号では、和解手続によるカルテル事件1件と買収事件1件を取り上げる。

カルテル事件では、医薬品の重要成分を対象とするカルテルを行っていたオーストラリアの製薬会社7社のうち、5社に対し総額1340万ユーロの制裁金が賦課された。残り2社のうち1社は、制裁金減免制度の下で本件カルテルの存在を明らかにしたため、制裁金が全額免除された。もう1社は、和解手続により処理することに同意しなかったため、正式なカルテル手続を経て処分される。

買収事件では、日立レールによるフランスのThalesの地上運送事業の買収について、日立レールが幹線信号プラットフォーム事業を売却することを条件に承認されたものである。なお、本件に対しては英国の競争・市場庁も並行して審査を行った。

1 共謀事件

(1) 欧州委員会、和解手続により製薬会社に1340万ユーロの制裁金を賦課(2023年10月19日)⁴

欧州委員会は、重要な医薬品成分に関するカルテルに参加していたことを理由に、オーストラリアのAlkaloids Australia、Alkaloids Corporation、Boehringer、Linnea、Transo-Pharmの5社に対し総額1340万ユーロ(約20.8億円、1ユーロ=155円換算)の制裁金を賦課した。C2 PHARMAは制裁金減免制度の下、欧州委員会に本件カルテルの存在を明らかにしたため、制裁金が賦課されなかった。6社はいずれも本件カルテルへの関与を認め、本件を和解手続により解決することに合意した。

欧州委員会の調査

本件カルテルは、N-ブチルブロミド・スコポラミン/ヒヨシン(以下「SNBB」という。)を対象とする。SNBBは、腹部鎮痛薬Buscopanとそのジェネリックを製造するための重要な原材料である。

欧州委員会の調査の結果、6社が顧客(流通業者、ジェネリック医薬品メーカー等)に対するSNBBの最低販売価格を決定し、生産量の割当について調整し、合意したことが明らかになった。このほか6社は、事業上機微な情報を交換していた。

欧州委員会の調査により、2005年11月1日から2019年9月17日にかけてEEA(欧州経済領域)における単一の継続的な違反行為の存在が明らかになった。各社の本件違反行為への関与期間は、以下のとおりである。

⁴ Press Release, European commission, Commission fines pharma companies €13,4 million in antitrust cartel settlement, 19 October 2023.

会社名	開始時期	終了時期
Alkaloids of Australia	2005年11月1日	2019年9月17日
Alkaloids Corporation	2005年11月1日	2019年9月17日
boehringer	2005年11月1日	2014年12月31日
C2 PHARMA	2015年1月22日	2016年2月4日
Linna	2006年10月2日	2019年9月17日
Transo-Pharm	2011年6月21日	2019年9月17日

本件は、欧州委員会が医薬品分野において、また医薬品の有効成分に関するカルテルを禁止する初の事例である。欧州委員会は、スイスとオーストラリアの競争当局と協力をを行い、調査活動を調整した。

欧州委員会は、7番目の事業者である Alchem に対する正式な手続を開始した。同社は今回の和解手続の対象ではないため、標準的な(和解ではない)カルテル手続に基づく調査が継続される。

制裁金

制裁金は、欧州委員会の2006年制裁金告示に基づいて算定された。欧州委員会は制裁金額を算定するにあたり、とりわけ本件違反行為に関連する SNBB の売上額、違反行為の性質、多面的特徴、地理的範囲、実施期間を考慮した。

以下の3社は、制裁金減免制度の下、欧州委員会に協力したところ、

- ・C2 PHARMA は、本件カルテルの存在を明らかにしたことで約80万7000ユーロ(約1.3億円)の制裁金の全額免除を受けた。
- ・Transo-Pharm と Linnea は、欧州委員会の調査への協力を理由に制裁金が減額された。両社の減額は、協力の時期と、欧州委員会が両社の関与したカルテルの存在を証明する上で、提供した証拠が役だった程度を反映している

さらに欧州委員会は、2008年和解告示に基づいて関係者が本件カルテルへの参加と責任を認めたことを考慮し、制裁金を10%減額した。各社に対する制裁金額は、以下のとおり。

会社名	減免告示による減額	和解告示による減額	制裁金額
Alkaloids of Australia	100%	10%	0€
Alkaloids Corporation	50%	10%	9万8000€(約1520万円)
boehringer	30%	10%	179万1000€(約2.8億円)
C2 PHARMA	—	10%	55万9000€(約8600万円)
Linna	—	10%	53万7000€(約8300万円)
Transo-Pharm	—	10%	1040万1000€(約16.1億円)

背景

欧州委員会の調査は、C2 PHARMA が 2006 年制裁金告示の下、2019 年 4 月に提出した制裁金減免申請により開始された。2019 年 9 月の調査開始後、Transo-Pharm と Linnea から制裁金減免申請が行われた。

2 買収事件

(1) 欧州委員会、日立レールによる Thales の地上運送事業の買収を条件付承認(2023 年 10 月 30 日)⁵

欧州委員会は EU 合併規則の下、日立レールによる Thales の地上輸送事業の買収提案を承認した。本件承認は、日立レールが申し出た問題解消措置の完全な遵守を条件とする。

日立レールと Thales GTS は、EEA(欧州経済領域)における鉄道幹線信号サービスの主要な供給者である。両社は連結装置と自動列車保護システムを供給しているほか、日立レールは幹線と都市鉄道向け車両も製造、供給している。

欧州委員会の調査

欧州委員会の調査によると、当初届出のあった本件取引は、フランス(連結装置、鉄道監視と信号改良計画を含む)とドイツ(鉄道監視と信号改良計画プロジェクトを含む)の幹線鉄道信号プロジェクトの市場における競争を減少させ、価格上昇とイノベーション低下をもたらすおそれがあることが明らかになった。本件取引の結果、本市場における近接した競争者である 2 社が統合され、統合された事業者は非常に高い市場占拠率を獲得することが見込まれた。

提案された問題解消措置

欧州委員会の初期の競争上の懸念に対処するため、日立レールはフランスとドイツにおける連結装置、鉄道監視と信号改良プロジェクトを対象とする幹線信号プラットフォームの売却を提案した。

本件措置は、欧州委員会が認定した競争上の懸念に全面的に応えるものであり、幹線信号プラットフォームの連結装置、自動列車保護システムのフランスとドイツ市場における両当事者間の水平的重複を解消することにより競争が維持される。

本件措置は、欧州委員会と両社との間の建設的な議論の後に提示されたものであり、海外拠点を含むフランスとドイツにおける日立レールの単独事業を売却するという提案が成功裏にまとまった。対象事業の売却は、合併の結果失われることになる競争を即座に代替するものであり、合併事業者が近接した競争者同士である場合に生じる競争上の懸念を解消する。

⁵ Press Release, European commission, Commission approves Hitachi Rail's acquisition of Thales's ground transportation business, subject to conditions, 30 October 2023.

本件措置により、購入者は市場における存続可能な競争者として売却事業を永続的に運営できるようになる。欧州委員会は、自身の承認を要する売却事業の適切な買手の選定を含め、売却過程を注意深く監視する。

欧州委員会は、本件措置に対する市場テストにおいて受け取った肯定的なフィードバックを受け、本件措置により修正された本件取引は競争上の懸念を惹起するものではないと結論付けた。本決定は、問題解消措置の完全な遵守を条件とする。

英国の競争・市場庁(以下「CMA」という。)も本件取引を審査した。CMA の懸念に対処するため、日立レールは英国の幹線信号事業を売却することも申し出た。

当事者と製品

日立レールは、日本に本社を置く日立製作所の完全子会社であり、鉄道車両、信号システム、ターンキーソリューション、メンテナンスサービス、部品を含む輸送ソリューションを全世界において提供している。

GTS は、フランスに本社を置き、(i)幹線信号、(ii)都市鉄道信号、(iii)統合通信及び監視ソリューション、(iv)収益徴収システムの4つの中核事業分野において様々なソリューションを提供している。

なお、本件取引は当初2022年10月4日に欧州委員会へ届け出られたが、両当事者は欧州委員会が認定した競争上の懸念を考慮し、同年11月3日に届出を撤回した。その後両当事者は2023年9月14日、欧州委員会に再度本件取引の届出を行った。

(お問い合わせは、多田 英明・東洋大学法学部教授 tada@toyo.jp までお願いします。)